

第5章 今後の整備と効果の見通し

5-1 今後の整備計画

今後の整備について、『第2章 農地防風林再整備の必要性』にて評価した優先度をもとに、防風林整備を実施していく計画である。

竹富町において、農地防風林再整備優先地区の評価点数をもとに、今後の再整備事業について、優先度評価点数の高い順に、約20年間（平成44年度を目途）かけて長期的に整備していく計画としている。

表-5.1に各地区の整備予定年度一覧表を示す。

なお、今後の整備計画については、県営規模の地区の年度当り事業費が4億円以下で執行されることを想定している。

5-2 防風林効果発現の推移

農地防風林再整備後の効果に関して、定期的な事業執行と十分な維持管理により、平成37年度以降には防風林機能を発揮し、農地に対して効果が発生することが期待できる。

表-5.1の各地区の整備予定年度一覧に示したように、平成35年度には、全地区事業採択される予定であり、整備率も事業採択に伴い順調に伸びていくことが予想される。

防風林は、一般に植栽した苗木の根が活着するまでに2~3年程度、効果を期待する恒久樹の樹高が10mまで生長するには、15~20年程度要するとされている。

したがって、優先度が最も高い地区を整備した後、約15年が経過した平成37年度以降より、植栽した樹木は徐々に防風林機能を発揮し、効果の発現が期待できると考える。

このような効果の発現を期待するためには、定期的な事業執行と十分な維持管理が望まれる。

表-5.2 5年ごとの採択率、整備率および効果発生面積割合の推移

	H23	H28	H33	H38	H43	H48
	現状値	中間値	目標値	(参考値)	(参考値)	(参考値)
採択率(事業量ベース)	11.8%	52.4%	94.8%	100.0%	100.0%	100.0%
整備率(事業量ベース)	0.0%	16.4%	57.5%	91.2%	99.6%	100.0%
効果発生面積割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%	27.3%	73.7%